

令和 7 年 1 月 8 日

保護者 各位

薩摩川内市立海星中学校
校長 木之下 悦朗

令和 6 年度 2 学期 職員・生徒・保護者アンケート結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、益々御健勝のことと拝察いたします。

さて、2 学期末に学校運営の今後の改善を図るために、保護者の方へアンケートをお願いしました。その結果や生徒アンケート結果及び職員の学校評価等の結果を踏まえた今後の取組について下記に記載しました。

今後とも本校教育について、保護者の皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

記

1 職員の学校評価から

(1) 良かった点

- 各種便り（学校・学級・領域）の発行に努め、または協力し、積極的に情報提供できた。
- 特別の教科「道徳」の時間は、道徳教育の充実のために、意識的な資料の収集や指導の工夫・改善を図れた。

(2) 改善を図る点

- 生徒のあいさつのレベルアップに取り組めた。
→ 場面に応じたあいさつについて再認識させ、随時指導を行う。
- 読書をする機会や読書量を増やすなど、読書の充実に努めた。
→ 生徒に働きかけ読書の推進を図るとともに、自らも生徒とともに読書に親しむ。

2 生徒アンケートから

(1) 良かった点

- 朝学習や学力向上タイムの時間、しっかりと取り組むことができた。
- 学校生活の中で、お互いの気持ちを大切にできた。

(2) 改善を図る点

- 図書室の本を借りて読むことができた。
→ 生徒会に働きかけたり、読書に関するイベントを設けたりして読書の推進を図る。
- テレビやスマホ、ゲームなど、けじめをつけ、ルールを守って使用できた。
→ 生活リズムチェック表などで実態の把握や個別指導に努める。家庭でもルール確認や声掛け等の協力をいただきたい。

3 保護者アンケートから

(1) 良かった点

- 子どもは将来の夢・希望を持ち、その実現に向け努力している。
- 職員は進路についての適切な指導や情報提供をしている。

(2) 改善を図る点

- 学校は各種便りやホームページ等で、保護者にとって必要な情報の提供を十分に発信している。
→ 発信の方法をさらに工夫していく。
- 子どもは読書を積極的に行い、読書量も十分である。
→ 「家読（うちどく）10 分」について改めて周知を図り、推進していく。

アンケートへの御協力ありがとうございました。この結果を真摯に受け止め、特に改善点において、保護者や地域の皆様の協力を得ながら全職員で課題の解決に努めて参りたいと思います。本校教育に対する御意見、御要望等ございましたら遠慮なく御相談ください。